

わたしの一言

常日頃考えている事や議会や町政についてのご意見などをお聞きました。

化粧品を通じて河北町を全国に発信

● 布宮 知治さん^{ともはる}

私は昨年、起業支援事業費補助金を活用して化粧品製造販売会社を吉野で起業いたしました。

会社名は「しゃぼん亭」で、様々な化粧品開発に携わりたいと考えていますが、現在は主に無添加せっけんを製造販売しています。

紅花は山形県の県花であり河北町の町花でもあります。この紅花を使った石鹸は河北町の名を全国に売り込む力があると考えています。

来年度は河北町が持つ高品質な農産物資源を利用させて頂き、石鹸を開発し販売していきたいと考えています。使用する農産物は乾燥後、細かく砕いて使用する為、規格外品でも全く影響がありません。

規格外品の農産物に価値を見い出すことで農家所得改善にも一役担いたいと考えています。

また河北町アンテナショップやふるさと納税返礼品等へのご提供、インターネットでの販売等を通して河北町の魅力を伝えられたら幸いです。

私個人では難しい部分ですので、河北町の皆さま方のお力添えが何よりも必要だと感じています。



編集後記

このたびの豪雨で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

ハザードマップは千年に一度の水害を想定して更新されました。

今回のように災害はいつでもどこでも想定外の事態となりがちです。

また、新型コロナウイルスで、生活に不安を感じて過ごさなければならぬ状況が生まれています。

町は、少しでも不安を取り除かれる施策を行うべきです。

議員はしっかりと住民の声を届けていかなければと思っています。

(みつひろ)

広報広聴常任委員会

委員長	木村 章一
副委員長	阿部 恭平
委員	佐藤 修二
委員	齋藤 隆
委員	細矢 誓子
委員	石垣 光洋

印刷／株式会社武田印刷



かほく議会だより

第109号
2020年10月14日

<http://www.town.kahoku.yamagata.jp/1050.html>



山形県河北町議会
山形県西村山郡河北町谷地戊81
〒999-3511 ☎0237-73-2119
編集／広報広聴常任委員会



シリーズ ● 町民インタビュー

消防団の班長の皆さんに、消防団活動や水防団としての活動、町についてのご意見などを語っていただきました。

町民の命と暮らしを守る活動

2P

水害から復興へ 補正予算の質疑

8P

安全安心な町を

11P

町民のいのちと暮らしを守る活動

河北町消防団の各分団から班長さんにお集まりいただき、消防団活動のこと、町への思いやご意見などお聞かせいただきました。

今回の水害対応や3年前の林野火災対応について、消防団活動のやりがいやご苦労されていること、家族や仕事との関係など、お聞かせ下さい。

消防団員の出勤に特別有給の会社も
矢口浩樹さん



谷地の第2分団2部2班の班長です。消防団は15年になります。水害対応は初めてで、被害がひどく、こんなことがあるんだと、

びっくりしました。団員への連絡はラインで一斉にやっています。職場から消防に出かけにくい会社も多いようです。

しかし、会社によっては、消防団員の出勤に、特別有給を出すところもあるようです。

無線機で避難者の確認
阿部久美雄さん



荒小屋に住んでいて、第1分団3部2班の班長をしています。水害では押切地区を担当し、予想外の展開で、あと5分で自分のクルマも出られなくなるころでした。その後、3人組で3時間ずつ交替し、県道封鎖の交通整理でした。

明確な迂回路の情報がなく、ドライバー対応に苦労しました。配備の無線機は、なかなか避難しない人の確認や説得に、区長と連携できるなど、とても役に立ちました。班の全員は出勤できない場合があるので、班の定員までメンバーを揃えたいです。

消防団でITの活用を
庄司泰寛さん



西里の両所に住んでいます。第5分団2部2班の班長です。消防団には高校を卒業してすぐに入り、15年になります。西里小のPTA会長を務めています。出勤も団員募集も、

仕事や地域活動、スポーツや家族のこともあり、なかなか大変です。水害対応で、がけ崩れなどの確認作業をしましたが、危ない現場はドローンなどITを活用できるようにすべきです。

団員が勤める会社に町と消防団の要請を
林智さん



谷地の土工に住んでいて、自動車分団3班の班長をしています。消防団に入って15年ほどです。操法の指導員です。応急手当普及員、防災士の資格は町が普及を進める前の時期に取りました。団員が参加しやすい

雰囲気づくりに努めています。町と消防団の連名で団員の勤める会社には、協力をお願いする要請文書を出してもらえないでしょうか。会社にとっても消防団活動は、予防消防の役割が期待できます。自宅や隣家が燃えていたら助けてほしいから、消防団に入って助けに行こうと、団員勧誘をしています。

現場の動画送って班員に出勤の要請
安達良一さん



北谷地に住んでいます。第4分団2部3班の班長です。出勤の連絡は、同じようにラインですが、

集まってもらえないことがあります。水害対応では大変な現場の動画を送ったら、集まってくれました。

今回の水害で消防団の連絡網は機能しませんでした。

消防団幹部の家族が、炊き出しをして下さったのに、うまく届きませんでした。

林野火災の時も大変でした。いつもの太いホースだと重くて引き廻すのが大変で、林野火災用に細いホースも準備すべきです。

ドローンで合流点など撮影しデータ提供
後藤輝昭さん



溝延の東浦に住んでいます。第3分団2部

1班の班長です。消防団に入って20数年です。住んでいる地域は最上川と寒河江川の合流点で、水害の多い地域です。自営業ですが町内にいないことが多い仕事です。

水害対応では夜になつてようやく、10人の班員が集まりました。翌日には、手持ちのドローンで合流点などを撮影して、データを提供しました。

町や議会、議員や議会だより、ご意見やその他なんでもお聞かせ下さい。

出勤手当は不十分

林智さん

今回の水害対応は、36時間連続で出勤した者も多く、消防団の出勤手当は1日1000円で、今回は2日で2000円となります。



報酬は1年分が1万6800円で、会社を休んでもらうての出動を要請する立場としては、十分な手当ではないと思います。

今回の水害対応で、町の防災マニュアルは機能したのでしょうか。避難所や福祉避難所はどうだったのでしょうか。

総合防災訓練の時は、

毎回炊き出しの訓練をしています。炊き出しが出なかったのは残念でした。自主防災組織との連携は、機能したのでしようか。

しっかりとした検証を求めます。

右折信号なんとかして
矢口浩樹さん

河北町は住みやすい、生活に困らない町だと思います。

でも、道の駅は早くなんとかして欲しいし、施設が分散していて、集客力がない状態を変えるべきです。

高校生までの医療費無料化が、他より遅かったがもっと早くしてほしかったと、妻から言付けがありました。被害の交差点は、木商さんの交差点は、朝の時間帯に北進から右折する時、1回に2台程度しか通れないので、

仕事や地域活動、スポーツや家族のこともあり、なかなか大変です。水害対応で、がけ崩れなどの確認作業をしましたが、危ない現場はドローンなどITを活用できるようにすべきです。

団員が勤める会社に町と消防団の要請を
林智さん



谷地の土工に住んでいて、自動車分団3班の班長をしています。消防団に入って15年ほどです。操法の指導員です。応急手当普及員、防災士の資格は町が普及を進める前の時期に取りました。団員が参加しやすい

雰囲気づくりに努めています。町と消防団の連名で団員の勤める会社には、協力をお願いする要請文書を出してもらえないでしょうか。会社にとっても消防団活動は、予防消防の役割が期待できます。自宅や隣家が燃えていたら助けてほしいから、消防団に入って助けに行こうと、団員勧誘をしています。

現場の動画送って班員に出勤の要請
安達良一さん



北谷地に住んでいます。第4分団2部3班の班長です。出勤の連絡は、同じようにラインですが、

やって下さい。安全・安心が心配です。

消防では、5年に1度は河北町で操法大会が開かれます。

当番の団員たちは、最初は渋々ながら、だんだん本気になって数か月間も朝の練習をして本番に臨みます。

河北で大会がある時は、家族・子どもたちが応援を出来る態勢にして下さい。

道の駅は入りにくく
アピール力弱い

後藤輝昭さん

河北町は通過する町になっていきます。

町外からやってきて、肉そばを食べ、産直に寄り、お雛様を観て通り抜けていきます。

道の駅は入りにくくし、アピール力が弱いと思います。

人気がある動物園をしっかりとアピールして下さい。

9月議会
3日～15日

9月定例会が開催され、一般質問や議案審査などがおこなわれました。

決算審査特別委員会では委員長に松田收作議員を選出し、令和元年度の決算を審査しました。そのおもな質疑や討論を4P～7Pに紹介します。補正予算や条例案などについての質疑は8P～9Pに紹介します。議案のおもな内容と、議員の賛否一覧は20～21Pで紹介しています。

町営の路線バス デマンドタクシー検討

問 町営路線バスは、収入が経費の1割で評価できない。
朝と晩は利用がある

予約をした利用者を集めて走るデマンドタクシーなど、分析しながら検討している。

環境防災課長 朝の東根線は利用者があ



寒河江市で運行中のデマンドタクシー

ゼロ歳児の保育料支援
スタートした評価は

問 すこやか保育事業で、ゼロ歳児の保育料支援がスタートしたが評価はどうか。

健康福祉課長 ゼロ歳児の保育料を直接支援する制度で、保護者から喜ばれていると思う。

保育士の待遇改善は、手当てされていると期待したい。

税や公共料金の コンビニ徴収どうする

問 町民税や水道料金などについて、コンビニ徴収など多様な収納法を求める声がある。県内ではどのくらい実施していて、町ではどう検討しているか。

税務町民課長 コンビニ徴収の導入は、徴収率アップにはならず、経費がかかる。県内では35市町村のうち20市町で取組んでおり、河北町でも今後検討していく。

**6次産業化で
農家所得の向上に**



役場の収納窓口

問 農家所得向上のため、町内農家が産直に出荷している状況を把握し、支援を検討すべきではないか。

農林振興課長 東根や寒河江の産直に、河北町の農家がどれくらい出荷しているか把握していない。

産直への出荷は、農家所得の向上になる。

外国籍の人は

町内に189人
問 河北町内に外国籍の方は、何人くらい住まいているのか。

税務町民課長 合計は189人で、中国人59人、韓国・朝鮮人47人、ベトナム人38人、フィリピン人24人、インドネシア人15人、他が5人住まいている。

いもこ列車は 回数多く定時運行へ

問 いもこ列車は年間6回の保存管理のため一般公開だ。

観光と位置づけ、協力会などを立ち上げる案もあるのに、先に進まないのはなぜか。

町長 いもこ列車は乗車料金をもらえないが、回数を多くして定時に運行すれば、全国からのお客は多く観光の目玉になると思う。

町職員とOBだけではマンパワーが足りないので、仕掛けづくりをしていきたい。



運行回数増が望まれるいもこ列車

**かほくあいこども園で
すべて正職員化を進める**

問 2つの認定こども園に整備事業補助金としての2292万円は、検討の余地がある。

これは臨時職員が多いなどの、保育士たちの待遇改善に活かすべきではないか。

副町長 かほくあいこども園の理事として理事会に参加している。

かほくあいこども園では令和3年度は、全て正職員化を進めるとの説明があった。

家賃算定ミス

12月にけじめ示す

問 町営住宅の家賃算定ミスで町の収入が減ったが、誰が補填するのか。

副町長 算定ミスの不納欠損額を計上しており、けじめを示すべき時期だった。12月議会に対応を決めたい。

ふるさと納税 2年度は倍のペース

問 ふるさと納税は、寄付をいただいた返礼品で町内産業の活性化や、町の財源も獲得でき、期待が大きい。

元年度はルール変更で寄付額は、前年比で半額以下の7億2800万円になった。体験やサービスの返



ふるさと納税の書類作業

商工観光課長 返礼品の人気は米が半分以上で、肉、果物の順だ。

令和2年度は、昨年の倍のペースだ。

返礼品は366種類を揃えているが、更に充実させたい。

大型の野生動物

死体処分の負担は

問 犬猫の死体処理を町で行っているが、大型の野生動物が床下で死んでいて、多額の自己負担をした例がある。どこからが町の処理担当になるのか。

環境防災課長 路上などで犬猫などが死んでいた、側溝や道路で車にひかれ私有地に入り込んだ場合も、町の負担で処理している。

私有地の大型の野生動物などは新しい事例で、検討の余地がある。

令和元年は熊も出没

問 鳥獣による被害額はどのくらいか。

町内で電気柵などは使っていないのか。

農林振興課長 令和元年度は熊も出没した。被害は果樹が500万円、野菜が30万円だ。町内で電気柵は、設置していない。

安部権内家は 会と町と一緒に研究

問 安部権内家の町としての位置づけはどうなっているか。

町長 保存する会と一緒に研究していきたい。

中学校の教室は狭くて間隔とれない

問 小・中学校の新型

コロナ対策は、しっかりとやれているか。

学校教育課長 マスク、

石けん、フェイスシールド、マウスシールドなど配備している。

机を1m間隔にする対策は、オープンスペースの小学校はどうか



どう活かす安部権内家

できるが、中学校の教室ではスペースが足りなくて、苦慮している。

国民健康保険の資格制限は67世帯

問 国保税は、協会健保に比べ2倍の高い額だと認識すべきだ。

高すぎる金額にしながら、滞納すると資格を制限するのは間違っている。

時々更新しなければならぬ短期証や、窓口で全額支払わなければならない資格証明書を、何人に発行しているのか。

基金を使い、一般会計から繰入を増やして、引き下げをすべきだ。

税務町民課長 滞納者は119世帯で、短期証は56世帯、資格証明書は11世帯の計67世帯に発行している。

国保の基金は、国保税を引き上げないよう使っている。

山形の新品種として育てていく考えた。

本数は5本以上に要件を緩和することになった。

べにのすけは2代目

テレビにも出演を

問 べにのすけは2代目ができ、テレビにも努めて出演すべきだ。

商工観光課長 べにのすけは、年間約50回出動している。

災害時の排水ポンプ

建設クラブに委託

問 水害対応時に、消防団は水防団として活動する。

場合によって、消防ポンプで排水作業をすることがあったが、水防団に排水ポンプの配備を検討しないのか。

環境防災課長 災害対応の排水作業は、必要な時は建設クラブに委託している。



美味しいと評判 ひなの宿の朝食

ひなの宿の部屋数 増やせないか

問 ひなの宿は、いっぱいではなかなか予約が取れない。

部屋数を増やしてとの声があるがどうか。

商工観光課長 部屋を増やしてほしいとの声は聞いているが、採算などを考えると難しい。

特に今は、新型コロナ対応で3〜4割お客が減っている。

町の防災計画にタイムライン作る

問 町の防災計画には、時間経過に応じてやるべきことの時間割(タ

反対

木村章一

失望し引越した家族も

高3までの医療費無料制度や、小中学生の給食費負担引下げは、

町民の強い要望にも関わらず、この年度には取組まれなかった。

残念ながら施策の遅れに失望し町外に引越した家族があった。

本当に想定して対策を

末にハザードマップ説明会があったが、実際には災害を本当に想定した対応や準備不足が明らかになった。

高過ぎる国保税対策を

高過ぎる国保税は、基金を取崩し、一般会計から法定外繰入をしてでも、引下げをすべきであった。

期待に応え産業振興を

また農家レベルでの6次産業化支援がまったくなかった。

おまけダブリの補助金

2つの認定こども園への、施設建設借入金を全額肩代わりする補助金2292万円は、「おまけでダブリの補助金」ですぐに廃止されるべきだ。

以上決算に反対する。

討論

令和元年度的一般会計決算

賛成

石垣光洋

新庁舎建設について、開庁後はより一層町民の利便性に寄与することを期待する。

ふるさとづくり寄付金については、前年度に比べ約54%の減となった。一層の返礼品の工夫に取組んでいたきたい。

小中の空調設備は評価

あつたことを考えれば、小中学校の空調設備工事は必要であり評価する。

河北町の災害ハザードマップが改訂された。

今年7月の豪雨では多方面に被害が及んでいる。公助ありきであるが、防災については私たち個人も心がけていかなければならないと思う。

も、研究・検討をお願いしたい。

財政状況も厳しく、事務執行に関しても各部門において課題が多い。

次年度へ向け、改善・進展を期待する。

常に町民目線でニーズを的確に捉え、今後も町政運営することを希望して賛成討論とす。



せん定の時期を迎えている溝延の桜堤

桜堤の桜は すっかりせん定を

問 寒河江川の桜堤は、桜に詳しいプロの手で、すっかりせん定をすべき時期ではないか。

都市整備課長 管理を

お願いしている、シルバー人材センターは高所作業をしない。

すっかりせん定をする必要があると思う。

山形紅王の導入要件

10本から5本に緩和

問 さくらんぼの山形紅王を植えてみたいが、10本以上というしぼりは、本数が多すぎるという声があるがどうか。

農林振興課長 当初は10本以上で、植える場所を届けてもらって、

7月9日と8月11日の臨時会、9月定例会に提案された補正予算や条例についての質疑を紹介します。

聴き取りにくい 防災放送の解決策

問 防災行政無線の放送は聴き取りにくい。
防災ラジオと、電話応答機能はどのように準備したのか。

環境防災課長 防災ラジオは電源をつないで、電話応答機能は、防災放送の内容を、電話

おき、 防災情報がある
と自動受信するもの。
150台は75歳以上の高齢者世帯などに無償貸与する。



天童市で導入している防災ラジオ

で聞くことができるシステムで、3回線を準備する。

防災の電話応答機能 3回線では足りない

問 防災ラジオは、75歳以上の高齢者世帯でなくても欲しい場合は対応するのか。

環境防災課長 防災ラジオは、1台1万2000円で、無償貸与以外は今後検討する。

電話応答機能は、広域消防でも、火災の場合など繋がりにくくなるが、3回線では少な過ぎるのではないか。

初期経費は1回線2万8000円で、今後検討する。

町長 3回線では足りないかと判断する。予備費や流用も考え、回線増を検討させる。

**新しい生活様式対応
支援の補助金とは**

問 新しい生活様式対応支援の補助金は、例えばよく使われているクレベリンという空間殺菌の薬剤なども対象になるのか。

商工観光課長 新型コロナウイルスが感染しないよう、日常的な対策をした接客がある事業者は20万円限度で補助する。

アクリル板設置やフェイスシールド、クレベリン配置なども対象になる。

町の持続化支援金 来年の2月15日まで

問 河北町版の持続化支援金の、支援対象と内容はどうか。

商工観光課長 国の持続化給付金は、前年同月比で50%以上の売り上げ減少した事業者が対象で、来年1月まで

活用できる。
町の支援金は、50%未満30%以上売り上げが減少した事業者に、この10月1日から来年2月15日まで申請を受け付け、一律30万円を支援する。



養生して工事を待つ八景庵

八景庵の茅葺き屋根 かぶせ工法で補修

問 紅花資料館の八景庵の茅葺き屋根をどう補修するのか。

商工観光課長 雪や風、鳥などにより痛んでいる八景庵と作業小屋の茅葺き屋根を、かぶせ工法で補修する。文化財として配慮しながら決めた。



床上1mまで浸水した押切の自治公民館

被災の自治公民館に 義援金で復旧支援

問 押切地区は被災世帯が多いほかに、自治公民館も被災して復旧しなければならぬ。

従来の公民館リフォーム補助を見直しているが、残る分は地元負担にせず、義援金の活用などできないか。

副町長 これまでのリ

フォーム工事費の1割支援から、被災時の対応として、今回は150万円支援とした。

残る額については、義援金の活用を検討したい。

被災した杉ノ下、8区、改目の自治公民館は復旧額が少ないので、



谷地工業団地に仮設された排水ポンプ

新庁舎の総工費は 40億7千万円に増額

問 新庁舎の冷暖房の熱源として地下水を使うことになっている。

今回メタンガスを抜く費用として1959万円予算化された。

工事して地下水に空気が入り、錆が発生して配管が詰まる心配はないのか。

新庁舎の総工費は、この分増額になるのか。

新庁舎建設課長 安全のためメタンガスを抜くようにした。

錆の発生については、しっかり打合せをし、確認して進めたい。

総工費は、40億5000万円にこの分が上

義援金で対応できるのではないか。

インフルエンザ予防 支援の対象変更

問 インフルエンザ予防接種は支援の対象が変更になるのか。

9月15日号の町広報お知らせはどうなる。

健康福祉課長 国からの連絡で、インフルエンザ予防接種の支援対象を19歳から65歳未満の分を、高齢者や基礎疾患がある方などに変更し、支援額を増やした。

10月1日号で、9月15日号からの変更のお知らせをする。

谷地橋下流の桜 植え替えの計画

問 最上川の谷地橋下流左岸の桜はどうなる。

都市整備課長 現場の状況を見ながら、堤の桜54本のうち11本の樹木を入れ替える。

田んぼなど土砂撤去 農作業にわせて

問 農業関連の復旧作業は、流入した土砂の撤去作業など、いつまでかかるか。

農林振興課長 田んぼなどの土砂撤去は、来年の農作業に間に合うように進めたい。

林道関連は、8本の事業がある。土木復旧と合わせ、10月中旬に着工し年度内に終了させたい。

臨時の排水ポンプ いつまで設置か

問 押切や谷地工業団地の臨時の排水ポンプは、いつまで設置しておけるのか。

農林振興課長 建設クラブに委託して、11月頃の台風シーズンが終わるまで、暫定的に設置する。

10 議員が一般質問



一般質問とは、町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、議員個人として問いただすことです。

12・13P

5番 吉田 芳美 議員

①令和2年7月28日の豪雨災害による被災者支援と課題の洗い出しなどについて

6番 槇 正義 議員

- ①県立河北病院と寒河江市立病院の統合を軸とした西村山地域の医療体制について
- ②河北町消防団定数と適正な消防団員数等について
- ③7月豪雨災害に伴う避難行動と避難所運営の検証について

4番 木村 章一 議員

- ①7月豪雨災害の被災者支援に全力を尽くすことについて
- ②生活と生業の再建に必要とされる支援をおこなうことについて
- ③無提区域を無くし、排水ポンプ場の整備、川底のしゅんせつなどを早急に進めることについて

7番 石垣 光洋 議員

- ①新型コロナウイルス感染症対策について
- ②新型コロナウイルス感染症が本町に与えた影響について
- ③新型コロナウイルス感染症対策の防止策について
- ④雇用の維持と事業継続支援策について

1番 丹野 貞子 議員

- ①令和2年7月豪雨災害における町の対応の検証と今後の対策について
- ②新型コロナウイルス感染症対策の最中に起こった豪雨災害への取り組みと今後の対策について

2番 東海林信弘 議員

- ①令和2年7月28日豪雨災害について

8番 細矢 誓子 議員

- ①本町における防災体制、特に7月豪雨災害への対応の検証について
- ②本町における防犯カメラの設置について

9番 阿部 恭平 議員

- ①コロナ(現状～終息後)を見据えたテレワーク推進を中心とする移住定住プロジェクトについて
- ②令和2年7月河北町豪雨災害により被災された方及び事業所への支援について

14番 岡田 桂司 議員

- ①地震によるブロック塀、石塀等の倒壊が後を絶たない。安全対策について
- ②移住定住促進事業支援で人口減少に歯止めを。

3番 齋藤 隆 議員

- ①町有施設における照明器具のLED化を進めることについて
- ②全国的な広がりを見せる少人数学級の実現を求める考え方について

上部のQRコードを読み込んで、議会ホームページの録画中継をご覧ください。

一般質問

町政に問題提起や政策提言

請願書

谷地工業団地の豪雨時の増水被害対策に関する請願書

○提出者 谷地工業団地連絡協議会会長 工藤亮輔

意見書

※全会一致で採択、請願書の要旨は以下のとおりです。

令和2年7月28日に発生した豪雨災害による谷地工業団地の損害状況を鑑み、左記事項について要望するものです。

1 水害を防ぎ将来的な改善計画を策定するための、専門家による調査・測量の実施

2 豪雨等により、水害が発生する可能性がある場合の排水ポンプ(団地敷地内の水を最上川に放流するためのもの)の常時設置

3 団地内から最上川に排水する通管部分の容量の大幅な拡大工事

正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

1 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税等の一般財源総額を確保・充実にすること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。

2 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能が適切に発揮できるよう、総額を確保すること。

3 令和2年度の地方税収が大幅に減少することが予想されることから、万全の減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的

4 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性等を厳格に判断すること。

5 特に、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。また、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた特別措置は、本来国庫補助金等により対応すべきものであり、今回限りの措置として、期限の到来をもって確実に終了すること。

追悼 石垣市雄 議員



去る8月17日、現職の町議会議員でありました石垣市雄氏が逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

9月定例会で佐藤修二議員が追悼の辞を述べました。以下に要約した内容を掲載します。

議員一同を代表し、謹んで哀悼の言葉を申し上げます。

あなたは何事にも前向きで調査と研究を重ね、平成15年4月の初当選以来、河北町議員として活躍されました。最近では河北町ほか2市広域斎場事務組合議員や白水川改修期成同盟会委員また河北町土地

開発公社理事として重責を担っていました。そして、最上川第二漁協でも役員として地域のために働いておりました。今回の災害においては、水門等推移観測員として横川樋門の業務に昼夜携わっておられました。

最後に、私どもは多くの職責を残されたあなたの町づくりに対する思い、町民の幸せを願う心を忘れずに、全ての町民が住みよい河北町の町づくりを議員としての使命とし、誠心誠意努力することを固く誓います。

ここに謹んで石垣議員のご功績を称え追悼の言葉といたします。良き友であり、良き仲間であり、良きライバルでもあった石垣市雄議員。さようなら。

過去にない水害だ

復旧を急げ

課題の検証と復旧に

全力尽くす



吉田 芳美 議員

間、横川・谷地工業団地や古佐川支流域の押切の排水は抜本的な対策が必要だ。

町長の所見は。

問 被災者復旧支援を国と県に強く求めよ。
町長 国の災害救助法と激甚災害に指定された。

町長 総合的な治水対策事業を早急に実施するよう関係機関に強く働きかける。

仮設住宅、浸水住宅の修理・農作物被害・農業施設・農機具・農地・道路・排水機場等の復旧に国庫負担で対応する。

被災者に寄り添った復旧支援を行う。

治水管理 整備を急げ
問 下野観測所の氾濫危険水位を一層超えた。溝延・北谷地無堤区

混乱招いた避難指示
問 ハザードマップの避難所と違うところに誘導され混乱した。運営面でも苦情が寄せられたが、その検証は。

町長 避難所に配置した職員が足りず、検温や健康チェックに行列ができた。コロナ感染予防策も不十分だった。災害対策本部と避難

西村山地域の医療体制
検討の動きは

河北病院抜きに
医療体制確保は困難



榎 正義 議員

問 寒河江市は7月13日、県に対し今後の西村山地域の医療提供の在り方について、県立河北病院と寒河江市立病院の統合を軸に検討を進めるよう要望書を提出した。

本町の消防団員は477人
問 消防団の手当等は他の市町と比べ低くはないか。条例定数565人と実団員477人との乖離について伺う。
町長 7月豪雨災害では、延321人の団員が出動した。消防団員の処遇については、引き続き調査・研究していく。条例定数との乖離については総合的に検討していきたい。

に主張するか伺う。
町長 県立河北病院は、西村山地域はもちろん二次医療圏・村山地域全体の医療において河北病院を抜きにした医療体制の確保は困難である。河北町民にとっても命と健康の砦であることを申し上げる。なお、協議の場は未だ設定されていない。

大特急で

浸水被害の無い町に

築堤ほか迅速に

当面は土のう検討



木村 章一 議員

問 水害の弱点を無くすため、溝延と押切の無堤区域に堤防を大特急で実現すべきだ。

田井と谷地工業団地を守るため、横川樋門に大型の排水ポンプ場が必要ではないか。

町長 7月豪雨災害では、延321人の団員が出動した。消防団員の処遇については、引き続き調査・研究していく。条例定数との乖離については総合的に検討していきたい。

について、関係機関に強く働きかけていく。はんらん危険水位を超えた問題は、国や県と町が一体となって、最上川の防災のため迅速に取り組む。

機械積み土のうを

吐出水槽を必ず作れ

問 当面の対策として、越水した横川と古佐川の河畔に、丈夫な土のうを積みむべきだ。

年度内に復旧される計画の押切の排水ポンプ場に、これまで無くて大問題だった吐出水槽を必ず作るべきだ。柏川は、町道下に逆流止める水門の検討を。都市整備課長 横川と古佐川の河畔に、機械

所の連絡体制や東根市との調整も悪く、今後に向け多くの課題が残った。しっかりと検証を進める。

自衛隊への派遣要請は
問 河北町は県下最大の被害だ。

自衛隊ヘリや機動力で、被害発生の数時間前に内水氾濫等を予見し、押切や田井地区に

危機迫る情報があれば減災に寄与したはずだ。水害は早い段階から気象予報と河川管理局情報で、下流域に達する時間軸予測は可能だ。災害が発生する事を前提に、いつ誰が何をするか決めておくことが必要ではないか。

町長 緊急性、非代替制の面から要請していない。

浸水した谷地工業団地

早急に避難所運営の

検証を

問 避難所開設等の準備は全く不十分、各避難所運営についても早急の検証が必要だ。

災害時に防災行政無線の情報伝達は限界だ。

町長 12か所に108



地域医療に貢献する県立河北病院

1人が避難した。各避難所では多くの課題が指摘されている。検証を行い今後に活かして行きたい。
9月定例会に防災ラジョ整備事業等の審議をお願いしている。

積みみの土のうを置くことは貴重なご意見だ。吐出水槽は、関係機関とよく協議する。柏川の水門は、可能性を検討したい。

被災者の体調管理と相談体制の支援を

問 被災者は、復旧のため苦勞し、時間の経過とともに状況も変わる。体調管理支援

や分かりやすい相談体制を作るべきだ。被災農家や事業者の支援と負担軽減を。
町長 通常に戻るまで時間がかかると思われるので、健康チェックや相談業務を継続していく。

15の被災事業者には、国や県の支援策を伝え、町の支援も検討する。



田井地区ではこの水面の80cm上まで浸水しました

新型コロナウイルス感染症対策は 情報の提供や支援を続けていく



石垣 光洋 議員

問 これまでの町民への情報の提供と支援体制は。

町長 広報やホームページ等で情報を提供してきた。相談にのりながら支援を進めていく。

問 相談窓口体制などの支援状況は。

町長 それぞれの担当

課において、悩みごとが解消できるよう引き続き対応していく。

問 本町へ与えた影響は

町長 本町税収への影響と財政の見直しは。

町長 県内の動向等を見極め、税への影響について注視していく。適切な財政運営に留意していく。

問 児童生徒への影響は。

町長 感染症対策を実施した学校教育を運営している。

問 新型コロナウイルス感染症の防止策は。

町長 今後も感染状況に応じた適切な情報提供を行っていく。

教育現場における新型コロナウイルス対策は

児童生徒の学びを保障するために、一人一台の端末とアカウント



すべての児童・生徒にタブレットPC

を用意した、GIGAスクール構想の実現に向け進める。

問 雇用の維持と事業継続支援策は。

町長 活力と魅力ある産業・企業支援事業費補助金での飲食店等の支援、かほく応援券発行事業など町独自の支援策を行った。

問 本町経済への影響と支援体制の強化は。

町長 セーフティネット保証認定の融資額総額は21億1800万円となり、これまでにない大きな経済損失額がある。国、県等の支援情報の提供、合わせて町としての支援策を考えたい。

避難所運営の 指揮系統の検証と対策は 教訓活かし 整備して災害に備える



丹野 貞子 議員

問 7月豪雨災害での避難所運営について、特に指揮系統の検証と今後の対策は。

町長 自主防災会長を対象とした避難所運営説明会を8月5日に予定していたが、間に合わなかった。

本部と避難所の連絡体制の連携不足など様々な課題があった。

また、新型コロナウイルス感染症対策とソーシャルディスタンスが徹底されなかった。このたびの教訓を活かした内容で災害に備

える。

**防災講話等で
平時から心構えを**

問 町民各自が避難所に持ち出す貴重品・非常用品の準備をすることなど、意識を高めるには。

町長 平時からの備えの重要性について地域等で防災講話等を開催し周知に努める。

消毒は厚生労働省・

県保健所の指導で対応

問 浸水被害を受けた家屋や道路などの消毒方法について、町民への周知はどのように行ったか。

町長 ①感染予防には、清掃と乾燥が重要で、

など指導を受けた。

町では専門の「建築士会」に依頼し窓口開設を行い、相談された方には、個別に同行し直接指導していただくなど対応した。

また、7月30日、8月12日と28日の計3回、「水害時における消毒方法について」お知らせ配布で周知を図った。



溝延研修センターで被災者支援の説明会

溝延研修センターを なぜ避難所にしたのか 避難判断水位に 達していなかった



東海林 信弘 議員

水害の場合は状況に応じて判断する事としている。

**再避難の移動方法は
適切だったのか**

問 西里農村改善センターへの再避難として各自で移動したが、危険ではなかったのか。

町長 バス等を用意して移動も考えたが、時間的な問題や、コロナ対策も考慮した上の決断だった。

避難所運営の課題は

問 食料や生活必需品の供給対応が遅く、また避難所での指揮監督者が乏しかったのでは。

町長 避難所で浮き彫りになった課題を踏まえ、備蓄計画等を改めて検討していく。

住民の生命・財産を守るために

問 河川関連の災害対策を、どう考えていく



甚大な被害の最上川・寒河江川合流地点

のか。

町長 町、県、国及び関係団体等の河川部局や農林部局と連携し、調査検証を強く要望する。

また築堤等による治水、内水処理等の排水、流下能力の維持等、治水対策を関係機関と一体となつて取り組む。地域と連携を強化し

取組んでいく。

無堤区間の農業用地は甚大な被害

問 無堤区間の農業用地災害支援状況は。

町長 激甚災害に指定され、国の災害復旧事業として申請している。手続き後に復旧工事となり、地元や土地改良区と調整しながら進めていきたい。

避難所運営の

新たな体制整備へ

地域の協力が得られる
システムづくり



細矢 誓子 議員

わかりやすく知らせる
配慮が欠けていた

情報発信のマニュアル作成や避難所開設等のシミュレーションをして対策を講じたか。

町長 避難勧告等の判断伝達は、伝達マニュアルに沿って行った。水位観測所や土壌雨量指数、町職員や水防団の情報に基づき、行政無線、緊急速報メール、広報車等で伝達した。

非常用持ち出し品などのお知らせは、わかりやすく知らせる配慮に欠けていた。

地域の協力が
得られる体制整備

問 避難所での説明、コロナ対策の対応、町外避難所との連絡の不備があり、それらに対してどのように対応したか。

町長 避難者への対応には、職員の力だけでは限界がある。

運営スタッフについては、地域の理解、協力が得られる体制整備が必要だ。

防犯カメラの必要性
は、認識している

問 子ども達の登下校時の安全や、高齢者の交通安全、徘徊等の発見にも活用できると認識しているか。

町長 カメラの設置に高い関心を示している。必要な施策ではないか。

町長 町民が安心、安全に暮らすまちづくりの上で効果的だ。

県の指針に基づいて優先して設置する場所の検討を進める。

町長 防犯カメラを設置した事で、犯罪の未然防止や公共施設の安全性、犯罪の検挙にもつながる。必要性は認識している。

設置場所の検討を進め、
取り組んでいく

問 地域住民は、防犯



360度広角で地域の安全を守る防犯カメラ

コロナ時代に対応した
移住定住促進を

ICTや住宅支援等
の環境整備が大切



阿部 恭平 議員

コロナ禍での活動

町独自の基準を

問 町の飲食店等を利用しての経済活動の活性化や、町内でのイベントや町民交流が求められている。

町民が利用・活動しやすくするために、コロナ禍における町独自の活動基準が必要ではないか。

健康福祉課長 今のところは考えていない。今後も県や国の基準に則って行っていく。

移住定住促進

プロジェクト設立を

問 首都圏ではテレワーク（在宅勤務）が進んでいる。

テレワークの支援・環境整備、持家・賃貸・引っ越しなど移住に関する支援、就職情報の発信など全体的に繋げて考え実行することが必要である。

コロナ時代に対応していくため、感染者が出ていない今こそ、本町でもテレワーク推進を中心に、移住定住促進プロジェクトを立ち上げるべきではないか。

町長 プロジェクトの立ち上げを検討している。

コロナ時代において、働き方と移住に対する新たな考え方が出てき



移住体験住宅(土慶小路)の新たな活用を

ている。今後の移住定住促進には、情報インフラや住宅・賃貸に対する支援などの環境整備が大切である。

災害の復旧・復興に

拡充・新規支援を

問 本町にいただいた、義援金や寄付金などの貴重な財源を、特に被

害が大きい方を優先してはどうか。

町長 優先は住宅の再建だ。財源は精査して使わせていただく。

危険ブロック塀の

改修に補助金を

持家住宅促進事業補助金
の活用で



岡田 桂司 議員

地震によるブロック
塀の倒壊事故を防ぐ
ために

問 通学路のブロック塀の調査は行っているか。

町長 「登下校時の安全確保のための合同点検」の1つとして、毎年行っている。

特に、問題があるブロック塀は、確認されていない。

民間のブロック塀は
調査していない

問 通学路以外はどうか。

町長 町の公共施設緊急点検をしたが、改修が必要な施設はない。町民へは、事故の周知回覧やホームページ等への掲載を通じて行っている。

既存制度の中で

活用支援を進めたい

問 危険ブロック塀等の改修に補助金を出す考えはあるか。

町長 「持家住宅促進事業補助金」の中で、撤去改修費用と住宅リフォーム費用一体で取り組む事業に支援している。

安全確保をお願いする周知を進めたい。

若者向け住宅を

問 令和元年の移住定住促進事業費補助金の交付が16件50人の方が移住定住した。さらに促進するには、住む場所、住宅団地（若者向け）、分譲地を造る必要があるのではないか。

町長 河北町を知って

もらうための施策で、移住希望者の選択肢が河北町となるように取り組む。

住宅開発については、これまでのまちづくりにおいて大きな役割を担ってきた。

第8次総合計画で示す。



まだ多く見られるブロック塀

町有施設における 照明器具のLED化を 財政負担の平準化を 考慮し計画的に実施



齋藤 隆 議員

問 町有施設ごとの照明器具のLED化の現状はどうか。

町長 主な施設25か所中、すべての照明に導入済みの施設が3か所、一部について導入が14か所、未導入が8か所となっている。

比較的多人数を集客する施設として、ひなの湯ではエントラン

ス・浴室について現在順次施工中、サハトベに花、中央図書館、町民体育館、町民プール、道の駅、紅花資料館、ひなの宿では一部導入済み、どんがホールでは未導入となっている。学校施設については教室を除き一部導入済みとなっている。

問 計画的に各施設のLED化を進めるべきと考えるがどうか。

町長 今後、施設ごとの事情や各施設の改修等の計画と合わせ、財政負担の平準化を考慮し、計画的に実施していく。

全国的に広がる

少人数学級実現の運動

問 7月2日に全国知事会長・市長会長・町村会長が連名で文科大臣に提出した「新しい時代の学びの環境整備に向けた緊急提言」に



LED化が待たれるどんがホール

対する認識はどうか。

町長 今後の学校教育のあり方や課題について、少人数編制を可能とする教員の確保やICT教育人材の配置充実、財政措置の拡充を要望したものと認識している。

問 河北町教育委員会として、少人数学級に対する基本的な考え方はどうか。

町長 山形県独自の「さんさんプラン」制度を大いに活用して、少人数学級編制や加配制度による個に応じたきめ細かな指導が実現できるよう引き続き努力していく。

令和元年度決算を認定

東根市外二市一町共立衛生処理組合議会

721万円は、翌年度へ繰越すもの。

②職員の子供休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

法律の改正により、一定の非常勤職員について育児休業等の取得が可能となったことに伴う条例の改正。

③ごみ焼却処理施設延命化（第2期）工事請負契約の締結について

条件付き一般競争入札により、株式会社タクマ東京支社が11億6050万円で落札（工期は令和4年3月10日）。

④粗大ごみ処理施設延命化（第1期）工事請負契約の締結について

条件付き一般競争入札により、株式会社タクマ東京支社が5億1700万円で落札（工

期は令和4年3月10日）。

⑤損害賠償の額の決定について

令和元年9月19日、公務中の公用車の運行

中に発生した人身事故により生じた損害の賠償。

いずれも原案の通り認定、可決しました。



被災ゴミの処分でクリーンピア共立もフル稼働

令和元年度決算を認定

河北町ほか二市広域斎場事務組合議会

8月24日、河北町議会場で定例会を開催しました。提案された議案は2件です。

①令和元年度歳入歳出決算認定について

歳入は、収入済額6284万円。歳出は、支出済額5580万円で、差引残額704万円は、翌年度へ繰越すもの。

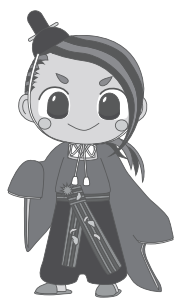
②第1回補正予算について

当初予算に歳入歳出それぞれ673万円を追加し、予算総額を6981万円とするもの。歳出は、施設管理費に473万円、予備費に200万円を増額。歳入は、令和元年度決

高規格救急車を 6298万円で取得

西村山広域行政事務組合議会

算の繰越金が確定したことに伴い、繰越金を増額するもの。いずれも原案の通り認定、可決しました。



6月29日、寒河江市議会場で第2回臨時会を開催しました。提案された議案は2件です。

①財産（高規格救急自動車）の取得について

2社を指名し、入札の結果、山形日産自動車株式会社寒河江店が6298万円で落札。

②財産（水槽付き消防ポンプ自動車）の取得について

3社を指名し、入札



の結果、株式会社長谷川ポンプ製作所が7341万円で落札。いずれも原案の通り可決しました。

審議結果 議員の賛否一覧

（9月定例会） 議第50号～53号は令和2年7月臨時会、議第54号は令和2年8月臨時会

議案番号	件名と主な内容 (件名は一部省略しています)	議席番号														議長
		議決結果	1 丹野貞子	2 東海林信弘	3 齋藤隆	4 木村章一	5 吉田芳美	6 榎正義	7 石垣光洋	8 細矢誓子	9 阿部恭平	10 松田收作	11 石垣市雄	12 佐藤修二	13 岡田桂司	14 漆山光春
議第50号	令和2年度河北町一般会計第5回補正予算の専決処分 歳入歳出402万円増額 歳入歳出予算総額117億5583万円 本町産さくらんぼに対する支援に係る費用	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
51	令和2年度河北町一般会計第6回補正予算 歳入歳出9595万円増額 歳入歳出予算総額118億5178万円 町内の全小中学生へのマスク配布の費用	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
52	河北町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定 新型コロナウイルス感染症の影響により収入が一定程度減少した被保険者等に係る国民健康保険税の減免申請書の提出期限の特例に関する規定を整備すること	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
53	河北町介護保険条例の一部を改正する条例の制定 新型コロナウイルス感染症の影響により収入が一定程度減少した被保険者等に係る介護保険料の減免申請書の提出期限の特例に関する規定を整備すること	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
54	令和2年度河北町一般会計第7回補正予算 歳入歳出3億9279万円増額 歳入歳出予算総額122億4458万円 7月豪雨災害に対する復旧費等を追加	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
55	令和元年度河北町一般会計歳入歳出決算認定 歳入総額95億2252万円 歳出総額93億491万円 差引額2億1761万円 繰越明許費の繰越額91万円 財政調整基金へ2億円 令和2年度へ繰越1465万円	認定	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
56	令和元年度河北町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定 歳入総額18億4979万円 歳出総額18億588万円 差引額4390万円 国民健康保険基金に2200万円、令和2年度へ2190万円の繰越	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
57	令和元年度河北町西里財産区特別会計歳入歳出決算認定 歳入総額459万円 歳出総額444万円 差引額15万円 西里地区1世帯当たりの協力金は、年額500円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
58	令和元年度河北町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定 歳入総額2359万円 歳出総額2359万円 差引額0円 世帯数120戸のうち112戸が供用	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
59	令和元年度河北町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定 歳入総額9億4062万円 歳出総額9億4062万円 差引額0円 認可区域面積733.5ha 整備率80.5% 4760世帯が処理可能	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
60	令和元年度河北町介護保険特別会計歳入歳出決算認定 歳入総額23億9203万円 歳出総額23億5048万円 差引額4155万円 保険料収納額 4億5363万円 収納率 99.8%	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
61	令和元年度河北町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定 歳入総額2億3117万円 歳出総額2億2939万円 差引額177万円	認定	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
62	令和元年度河北町水道事業会計の剰余金処分及び決算認定 収益純利益4799万円 資本的収支9670万円の資金不足は、消費税・地方消費税資本的収支調整額などで補填 資本金繰入8096万円	可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
63	令和2年度河北町一般会計第8回補正予算 歳入歳出4億3870万円増額 歳入歳出予算総額126億8328万円 河北町浸水住宅復旧支援事業費補助金など災害復旧及び災害対応強化に係る費用を追加	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
64	令和2年度河北町国民健康保険特別会計第2回補正予算 歳入歳出2347万円増額 歳入歳出予算総額18億7133万円 オンライン資格確認に対応するためのシステム修正に係る費用等の追加	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
65	令和2年度河北町公共下水道事業特別会計第2回補正予算 歳入歳出742万円増額 歳入歳出予算総額9億7446万円 マンホールポンプの復旧に要する費用等の追加	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
66	令和2年度河北町介護保険特別会計第2回補正予算 歳入歳出1414万円増額 歳入歳出予算総額24億9342万円 介護給付費国庫負担金等への返還金の増額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
67	河北町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定 非常勤職員の育児休暇等に係る規定の整備	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
68	河北町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定 7月豪雨により被災された世帯等の被保険者に係る国民健康保険税の減免申請書の提出期限の特例に関する規定の整備	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
69	河北町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定 通知カードが廃止されたことから、河北町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
70	河北町介護保険条例の一部を改正する条例の制定 7月豪雨により被災された被保険者等に係る保険料の減免申請書の提出期限の特例に関する規定の整備	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

審議結果 議員の賛否一覧(続き)

議案番号	件名と主な内容 (件名は一部省略しています)	議決結果	1 丹野貞子	2 東海林信弘	3 齋藤隆	4 木村章一	5 吉田芳美	6 榎正義	7 石垣光洋	8 細矢誓子	9 阿部恭平	10 松田收作	11 石垣市雄	12 佐藤修二	13 岡田桂司	14 漆山光春
			議決結果	議決結果	議決結果	議決結果	議決結果	議決結果	議決結果	議決結果	議決結果	議決結果	議決結果	議決結果	議決結果	議決結果
71	第8次河北町総合計画基本構想 期間 令和3年度から令和12年度まで テーマ「輝く人・町 夢と未来へ挑戦するまち」 令和12年度の目標人口 16,600人	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
72	人権擁護委員の候補者の推薦 奥山光明 氏の推薦に同意を求める	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
73	人権擁護委員の候補者の推薦 井上和幸 氏の推薦に同意を求める	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
74	人権擁護委員の候補者の推薦 菊地ひろみ 氏の推薦に同意を求める	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
75	河北町教育委員会委員の任命 木嶋真一 氏の任命に同意を求める	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
76	河北町監査委員の選任 真木吉雄 氏の選任に同意を求める	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
77	令和2年度河北町一般会計第9回補正予算 歳入歳出13億6698万円増額 歳入歳出予算総額140億5026万円 被災した住宅の応急修理に要する費用等災害復旧に対する費用の追加	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
請願第2号	谷地工業団地の豪雨時の増水被害対策に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議員発議第2号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し、地方税財源の確保を求める意見書の提出	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

第10回 議会報告会 議員と語る会

議会活動の報告や町民の皆様のご意見をお聞きます。

日ごろ皆様が思っていること、考えていることについて意見交換を行います。

当日は、マスク着用と検温にご協力をお願いします。

全ての会場に、どなたでもご参加いただけます。

【持参いただきたいもの】

●かほく議会だより109号

●わかりやすい令和2年度 予算説明書

【日 程】

期 日	時 間	会 場
10月21日 (水)	午後7時 ～ 午後9時	サハトベに花 交流室
		下沢畑公民館
		西里改善センター 和室
10月22日 (木)	午後9時	溝延研修センター 和室
		北谷地改善センター 和室
		どんがホール



9月30日に石巻市議会の大森秀一議長、遠藤宏昭副議長の訪問を受け、お見舞いのあいさつとともに、見舞金20万円をいただきました。この見舞金は被災者支援に活用されます。

石巻市議会から
水害支援の見舞金